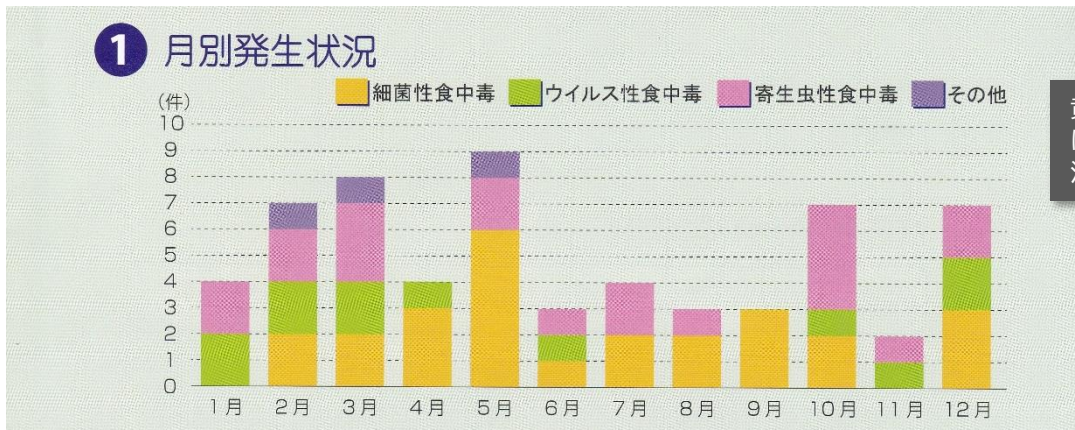
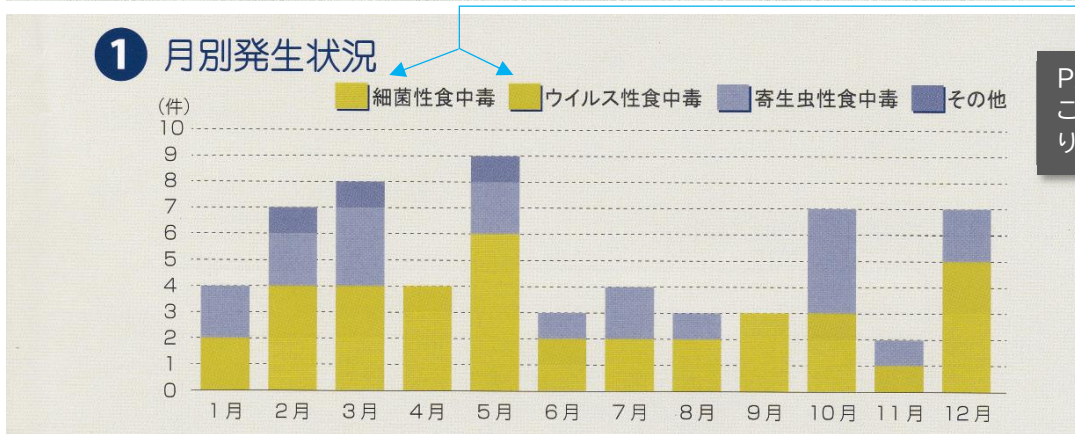


# 色弱者にとって見分けにくい色づかい

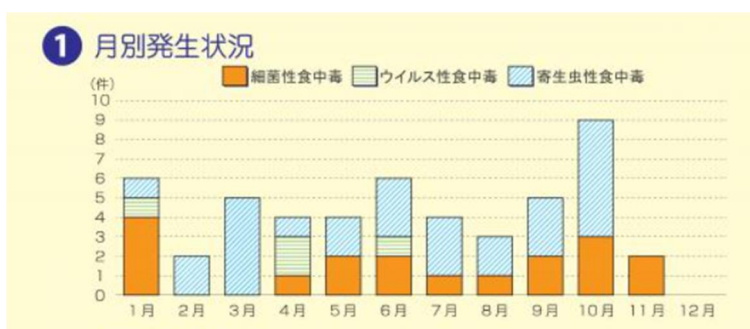
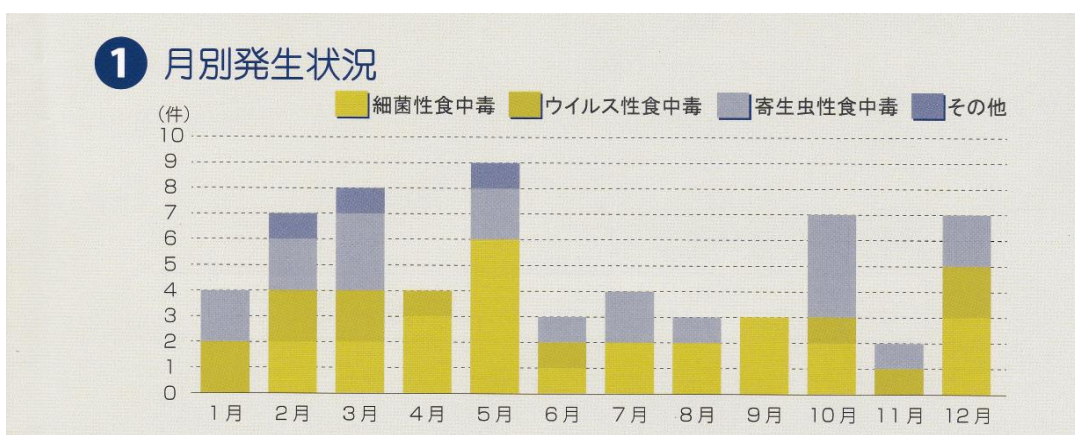
「愛知県の食中毒発生状況」令和元年(平成31年)版に掲載された月別発生状況を示す棒グラフ。下図は色弱者の色の見分けにくさをAdobe Photoshopでシミュレートしたもので、画像上から一般色覚者、中段はP型色覚者(1型2色覚)、下段はD型色覚者(2型2色覚)の見え方を示している。



黄と黄緑の組合せはよく使われるが、注意が必要である。



P型色覚者にとって、この黄と黄緑はかなり似た色に見える。



2021年版までは令和元年版と同じ黄・黄緑・ピンク・薄紫で棒グラフの色分けがされているが、2022年版では橙・黄緑・水色となり、ハッチングも施されて、誰にとっても見えやすくなった。